

前期基本計画（案）に対する意見及び対応について

募集期間：平成28年12月27日～平成29年1月31日

提出件数：パブリックコメント 6人（42件）
 十和田市総合開発審議会 3人（10件）
 計 9人（52件）

No	頁	提出された意見の要点	意見に対する市の考え方
1	全体	総合計画と下位計画の整合性を図ってほしい。	第2次十和田市総合計画は、個別計画との整合性を図るとともに、さらに新たなニーズを踏まえた計画としています。また、個別計画についても、総合計画の検討と合わせて必要に応じた見直しを行うなど、可能な限り総合計画を踏まえた内容となるよう努めています。
2	全体	基本目標から注目指標までの一貫性が弱いと感じる。	基本目標を実現するため、施策の目的、現状と課題を整理したうえで、基本事業の目的、手段と方向性を示しています。また、注目指標は、基本事業の取組動向を把握するために参考となる主な指標を定めています。
3	全体	これまでの施策についての評価や反省に触れる必要があるのではないか。	第2次十和田市総合計画は、現行計画に掲載された46の施策を対象に、その達成状況や積み残した課題、想定されていなかった新たな課題などを検証したうえで、策定を進めています。
4	全体	図表の枝番号は必要か。 (図表Ⅰ－1、図表Ⅱ－1－1)	基本構想と統一した考えとして、ローマ数字は該当の章、その後の数字は章内の項目、最後の数字が図表の番号を表しています。
5	全体	専門用語やカタカナ等で意味がわかりづらい単語についての配慮が必要ではないか。	市民にわかりやすい計画書となるよう、製本時には巻末への用語集の追加を検討します。
6	1	4行目に「地域経済社会の安定・成長を損なう」とあるが、「地域経済社会の持続・発展を損なう」としてはどうか。	基本構想との整合性から「安定・成長」と記述しています。

No	頁	提出された意見の要点	意見に対する市の考え方
7	2	基本構想との関係性を明確にするため、将来都市像と基本理念について記述する必要があるか。	基本構想と前期基本計画を併せて製本することとしていることから、現状のままとします。
8	2	図表Ⅱ-1-1 重点プロジェクトの構成の、②次世代のまちづくりを担う子どもたちへの支援の強化は基本目標7にも”○”が必要ではないか。	重点プロジェクトの位置付けは、各基本目標に対し横断的かつ重点的・優先的に推進していく施策群を表すものであり、その中において特に関連が深いものへ”○”を記述しています。
9	3	重点プロジェクトにおいて、冗長な表現が多いのではないか。	重点プロジェクトは、前期基本計画の計画期間内に特に重点的に取り組むべき施策を示したものであり、このことをわかりやすく伝えるため簡潔な表現とし、具体的については分野別計画において整理します。
10	3、11	保全するのはブランドイメージではないことから、「ブランドイメージを保全強化」を「農産物資源の保全に努め、ブランドイメージを強化」のように修正してはどうか。	ブランドの質を低下させないという思いを保全、さらに質を高めるという思いを強化とし、ブランドイメージの保全強化と表しています。
11	3	②次世代のまちづくりを担う子どもたちへの支援の強化の中で、高校生への支援について記述してはどうか。	重点プロジェクトは、前期基本計画の計画期間内に特に重点的に取り組むべき施策を示したものであり、具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
12	7	「基本目標（政策）の配下に位置付けられる」とあるが、「配下」という表現は適切か。「目標ごとに位置付けられる」のように修正してはどうか。	市民にわかりやすい計画書となるよう、見直しを検討します。
13	10	小規模農家、知識・技術を持った農家への支援について検討してほしい。	具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
14	12	基本事業6「安定した水産資源の確保」の手段にヒメマスやヤマメ以外の支援について記述してはどうか。	ふ化・放流事業の支援について、主となるものを記述しています。

No	頁	提出された意見の要点	意見に対する市の考え方
15	13	十和田湖畔休屋周辺に観光客が無料で休憩できる場所の確保をしてほしい。	基本事業1の中で、観光資源の整備と充実について記述しています。具体的な取組については、実施計画の中で整理します。なお、4月から11月までは、十和田湖観光交流センター（ぷらっと）の利用が可能です。
16	13	十和田湖畔休屋周辺には、地域住民が気軽に利用できる公園やトイレなどがないことから憩いの場の検討をしてほしい。	基本事業1の中で、観光資源の整備と充実について記述しています。具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
17	13	奥入瀬溪流、八甲田大岳などの観光地において、観光客が歩きにくいところが多いので改善してほしい。	基本事業1の中で、観光資源の整備と充実について記述しています。なお、奥入瀬溪流や八甲田などの歩道については、管理者である国・県に整備を要望します。
18	13	奥入瀬溪流の案内表示をわかりやすくしてほしい。	基本事業1の中で、観光資源の整備と充実について記述しています。具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
19	14	焼山、休屋などに観光ガイドを設置してほしい。	基本事業2の中で、観光客の受入体制の充実について記述しています。具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
20	14	外国語標記の案内板の設置をしてほしい。	基本事業2の中で、観光客の受入体制の充実について記述しています。具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
21	14	基本事業2「観光客の受入体制の充実」の中で、十和田西高等学校との連携について記述してはどうか。	手段の中に、「市民をはじめとする多様な主体との連携・協力により」と記述しています。具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
22	15	観光に関する様々な団体が活動しているが、組織的に活動する仕組みを検討してほしい。	基本事業3の中で、多様な主体との連携の強化について記述しています。具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
23	21	子育て支援の取組として、基本事業2「労働環境の充実」の中でも、働いている女性への福利厚生などの支援策について記述してはどうか。	具体的な取組については、実施計画の中で整理します。

No	頁	提出された意見の要点	意見に対する市の考え方
24	22	現状と課題の中に、子どもの貧困について記述してはどうか。	現状と課題の中で、「支援を必要とする子ども及びその保護者を支える相談・支援体制の強化」について記述しています。具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
25	22	女性の就業率が高い状況にあり、保育所等の利用率の上昇となっているのであれば、「女性の就業率は、」を「女性の就業率が、」とし、「また、保育所や」を「保育所や」と修正してはどうか。	市民にわかりやすい計画書となるよう、見直しを検討します。
26	22	基本事業1「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」とあるが、産科の新設や増設について記述してはどうか。	地域医療の推進については、32ページの基本事業2の中で、医師の確保と医療の質の向上について整理しています。
27	23	注目指標「家庭児童相談件数」は、相談が多い方が良いということか。解決件数のほうが良いのではないか。	子どもや家庭をめぐる問題の多様化・複雑化に対応できる体制づくりを推進するという考えに基づき、指標を設定しています。
28	23	基本事業2「支援が必要な子どもに対する体制づくり」の中で、施策8「家庭・地域の教育力の向上」、施策14「社会保障の充実」との連携について記述してはどうか。	事業の内容によっては、複数の施策に関連するものがありますが、再掲はせず、特に関連深い施策の中に記述しています。なお、具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
29	24	施策7「学校教育の充実」の基本事業において、対象となる人や場所があいまいなため、内容が不明瞭となっているのではないか。	施策7は、学校教育の充実について整理したものであることから、児童・生徒を対象とした学校における取組を念頭に記述しています。
30	24	基本事業1「確かな学力を育む学校教育の充実」の注目指標の数値の根拠がわからない。	注目指標は、基本事業の取組動向を把握するために参考となる指標として定めています。平成33年度の数値はこれまでの実績に基づき、市が独自に設定したものです。
31	24	施策7「学校教育の充実」の中で、幼児教育、高校教育について記述してはどうか。	具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
32	25	基本事業2「豊かな心を育む教育の充実」の注目指標が「不登校児童生徒」というのはおかしいのではないか。	豊かな心を育むことにより、不登校児童・生徒の出現を少なくしたいという考えに基づき、指標を設定しています。

No	頁	提出された意見の要点	意見に対する市の考え方
33	26	基本事業3：健やかな体を育む教育の充実の目的の中で、「肥満傾向の解消」とあるが、注目指標に記述がないのはなぜか。	注目指標は、基本事業の取組動向を把握するために参考となる主な指標を定めています。
34	26	24ページの現状と課題の中で、ICTについての記述があるが、基本事業4「望ましい教育環境の充実」の目的の中に記述がないのはなぜか。	具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
35	26	コミュニティ・スクールを6校にできると考えている根拠は。	平成28年度において、大深内中学校、松陽小学校、洞内小学校の3校が指定されており、今後も、同等規模の小中学校で取組を進める予定としています。
36	27	基本事業1「家庭の教育力の向上」の注目指標が「各種家庭教育講座への参加率」というのはおかしいのではないか。	注目指標は、基本事業の取組動向を把握するために参考となる主な指標を定めています。
37	28	コミュニティの力が弱く、社会教育施設の無い地区について社会教育の場を提供してほしい。	地域コミュニティの活性化については、54ページの施策7の中で整理しています。なお、具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
38	29	受動喫煙対策への取組について記述する必要がないか。	基本事業1の中で、生涯にわたる健康の増進について記述しています。なお、具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
39	29、31	計画全体を通して、「市民一人ひとり」という言葉を用いていることから、施策の目的の「一人ひとり」を「市民一人ひとり」としてはどうか。	市民にわかりやすい計画書となるよう、見直しを検討します。
40	32	医師確保の取組として、看護の質の向上を図ることが必要ではないか。	基本事業2の中で、医師の確保と医療の質の向上について整理しています。なお、具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
41	36	手段の一つ目の、「自立した日常生活又は社会生活」を「自立した日常生活及び社会生活を」に修正してはどうか。	どちらか一方を選ぶものではないことから、見直しを検討します。

No	頁	提出された意見の要点	意見に対する市の考え方
42	37	注目指標「成年後見制度利用者数」の2人を4人へ増やすことについて、目指す方向性がわかりづらいのではないか。	制度について周知しているものの、利用者数が少なく成果も不透明であることから、注目指標とするには不相当と判断し削除を検討します。
43	40	基本事業1「低所得者の自立支援」の中で、母子家庭への取組について記述してはどうか。	基本事業1の中で、「生活に困窮している方」に包含して整理しています。なお、具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
44	51	施策19「安全・安心な暮らしの確保」の中で、歩道の安全対策について記述してはどうか。	歩道の安全対策については、69ページの基本事業2の中で、道路整備の推進として整理しています。なお、具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
45	55	町内会長、地区担当職員について情報発信が少なく感じる。地域の情報発信への取組をしてほしい。	基本事業2の中で、地域コミュニティ活動の促進として記述しています。なお、具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
46	55	注目指標「集会施設整備率」は、市が行う整備なのか町内会が行う整備なのかがわかりづらいのではないか。	市民にわかりやすい指標となるよう、見直しを検討します。
47	62	施策24「環境の保全」は大切なことであるが、産業振興の妨げとなる場合もあることから、市の方針を定めたいうえで環境施策を推進してほしい。	基本事業1の中で、自然環境の保全だけではなく、資源を活用したまちづくりについて記述しています。
48	67	十和田湖畔休屋周辺はラジオ、インターネット等の電波が悪いことから、情報通信基盤の整備をしてほしい。	基本事業3の中で、情報通信基盤の整備の推進について記述しています。また、14ページの基本事業2の中で、観光客の受入体制の充実について記述しています。具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
49	68	基本事業1「持続可能な公共交通網の整備」の中で、高校生の通学手段の確保について記述してはどうか。	基本事業1は、すべての交通弱者を念頭に記述しています。具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
50	69	十和田湖畔休屋周辺には、道路が国道103号しかないことから、北側に市道の整備をしてほしい。	基本事業2の中で、道路整備の推進について記述しています。具体的な取組については、実施計画の中で整理します。

No	頁	提出された意見の要点	意見に対する市の考え方
51	81	十和田湖小学校を解体せず、利活用方法を検討してほしい。	基本事業2の中で、安全・安心で快適な利用環境の確保について記述しています。具体的な取組については、実施計画の中で整理します。
52	81	十和田市相撲場を廃止せず、今後も相撲や様々なイベントを開催できるよう検討してほしい。	基本事業2の中で、安全・安心で快適な利用環境の確保について記述しています。具体的な取組については、実施計画の中で整理します。